

臨時議会について

4月臨時会の概要

4月臨時会は、4月27日に招集され、1日間の会期で審議が行われました。

臨時会には、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、営業時間短縮の要請に応じた福岡市及び久留米市内すべての飲食店、喫茶店及び食品衛生法における飲食店営業の許可を得ているバーやカラオケボックス等の遊興施設に対し、売上高等に応じ協力金を給付するための令和3年度補正予算議案1件、専決処分1件、人事議案2件が提出されました。

審議の結果、提出された議案4件については、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

なお、4月11日投票の知事選にて当選された服部誠太郎知事が、知事として臨まれる初めての県議会であったことから、冒頭に「新しい時代の県政を進めるにあたり、次代を担う『人財』の育成、世界の舞台で勝負できる福岡県の実現、ワンヘルスの推進の3つのことに挑戦していきたいと考えている」と挨拶をされました。



5月臨時会の概要

5月臨時会は、5月21日に招集され、1日間の会期で審議が行われました。

臨時会には、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、5月12日から福岡県が緊急事態宣言の対象区域に追加されたことに伴い、休業や営業時間短縮の要請に応じた事業者へ協力金を給付することや、感染症患者を受け入れる病床の増床と、宿泊療養施設を増室すること及び外出自粛や取引先である飲食店等の休業、営業時間の短縮により、大きな影響を受けている事業者へ県独自の支援金を給付することなどの令和3年度補正予算議案1件が提出されました。



審議の結果、提出された議案については、原案のとおり可決されました。

4月臨時会において、挨拶される服部誠太郎知事

議員提案政策条例検討会議について

「議員提案政策条例検討会議」の委員が新たに選出され、新委員による会議が6月18日に開催されました。同会議では、吉村悠議員が座長に選出され、新たな議員提案政策条例の制定に向けた取り組みがスタートしました。

地方分権が進展した現在、県の役割と責任は範囲を拡大し、ますます大きく、重いものとなり、取り組むべき政策課題も複雑かつ高度化しています。また、これに伴い、政策の実現手段である予算や条例の議決という重責を担う県議会も、審議能力の向上に加え、条例の議員提案を含む政策立案機能の充実強化が求められてきました。新しい政策課題の中には、従来の組織や既存の法律では適切に対処できないものも多く、常に県民の身近なところで県民の声を直接伺いながら活動を行っている議員に、県民のニーズを迅速かつ的確にとらえた政策の立案が期待されているからです。



- 小川 誠嗣 (緑友会)
- 堀 大助 (緑友会)
- 浦 伊三夫 (自民党県議団)
- 板橋 聡 (自民党県議団)
- 吉村 悠 (自民党県議団)
- 仁戸田元氣 (民主県政県議団)
- 大田 京子 (民主県政県議団)
- 壹岐 和郎 (公明党)
- 大塚 勝利 (公明党)

(○印は座長) 写真向かって右から

このため、県議会では、議員提案による政策条例制定の活発化を目指し、平成28年6月議会において、県議会を構成する主要会派が連携協力して条例制定に取り組む「議員提案政策条例検討会議」を設置したところです。

県議会では、この政策条例検討会議を中心として、会派及び議員の政務活動による調査の成果や外部有識者の専門的・技術的知見も活用し、政策条例の立案に取り組んでいます。

これまでに制定された議員提案政策条例

- ・福岡県ワンヘルス推進基本条例 (令和2年12月定例会)
- ・福岡県における性暴力を根絶し、性被害から県民等を守るための条例 (平成31年2月定例会)
- ・福岡県犯罪被害者等支援条例 (平成30年2月定例会)
- ・観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例 (平成28年9月定例会)
- ・福岡県薬物の濫用防止に関する条例 (平成26年12月定例会)
- ・福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例 (平成24年2月定例会)

※それぞれの条例の概要を県議会ホームページに掲載しています。
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/oshirase/seisaku-jourei.html>